

鮎温泉食の旅

羽根川ダム

早い春の訪れ

温暖化のせいなのでしょうね。平野部は3月中旬に雪も消えて、気の早い釣り人は野釣りへ…。4月に入ると、暖かい日が続き、単離れも早い早い。津軽の野池、もちろん秋田の沼からは好情報が飛んできます。昨今は携帯電話があり、釣り場からライブ情報が届くももね。

20年程前は桜の開花はゴールデンウィークの頃で、大型連休と乗っこみがガツンゴで、皆さん北へ南へと走り回ったものですが、昨今は桜の開花が早まり、今年は例年より10日も早く(昨年よりは7日ほど) 11

日に開花宣言が発令されました。当然、水の温むのも早くなっており、全般に浅い湖沼ではハタキが始まっております。

今回、ご紹介する【羽根川ダム】は、一度取り上げたことがあります。が、当店の顧客様のカンパで4年前から毎年放流(相馬のお口の小さな背の高い超グラマー娘)が実施され、例・大会等も開催されるようになりました。放流魚ですから、氷が解けてまもなく釣れ始まります(例年3月彼岸過ぎ)。このダムは灌漑用水として造られておりますので、満水時には釣り座も少ないのですが、田んぼへの放水が始まると釣り座は増

えます。昨年はちょうどゴールデンウィークの頃が乗っ込み期と重なり3日間楽しませてもらいました。去年4月13日、愛好会の釣会が開催されましたが、皆さんを充分楽しませてくれました(気の毒に一人さま坊主が…)。このダムには、小マブナ特攻隊が、落下するエサを今か今かと待機して、ウキはダンスダンスだが、ヘラブナのあたりは明確なので、釣りは簡単です。マブナと小一時間も遊ぶ余裕がないと、ヘラブナは釣れません。

エサは両グルテンでもOKですが、両ダンゴをお薦めします。放流魚ですので、釣れるタナは、1〜2mの宙釣りがベターです。

ここはまた、山菜の宝庫で、アザミに始まり、笹竹の子、タラの芽、ゼンマイ、ワラビと豊富です。

このダムから、森岳温泉郷までは



羽根川ダム。雰囲気ですてでしょう!とにかく透明度が高いから気分が良いよねえ。5月に入ると青葉が眩しいよ。大好きな釣りができ、その上「森林浴」、明日の活力が生まれるよ!



羽根川ダムのヘラブナ。相馬から秋田にお嫁入りした「お口が小さく背の高い美人鮎」にニコリ笑顔!この日の水温はプラス5度、でも浅ダナの両ダンゴでバクバクでした。

トガシ釣具店オリジナル【携帯蒔絵シール】



かつてヘラブナの宝庫と言われた八郎潟は、外来魚の影響からか、今や夢幻の八郎潟となりました。ところが、近年、八郎潟へ注ぐ各水路で、けっこう楽しめるようになり、この日も5寸〜8寸クラスが面白いように釣れていました。八郎潟復活の兆しあるかもよ!



また鵜の問題は、関東・関西のこごとと楽観視してたが、3年ほど前から「川鵜&海鵜」が各湖沼にみられるようになり、今年にいたっては、昨年放流したヘラブナを食い尽くした沼もあり、深刻な問題となつてます。大変な天敵があらわれたもんです。



雪解けが早まり山菜が顔をだした。これは「ホンナ」と呼ばれ、山菜特有のクセがあるが、香りや歯ごたえがあり、オヒタンが美味しい高級山菜の一品だ!

ああ〜気持ちいい!!! 僕は、釣り終了後に、時間のない日は、さっさと顔を洗い、足湯に10分間浸かり帰宅してます。



農家レストラン・じまん亭。当店から車で5分、桜の名所『日本国花苑』の敷地にある「農家レストラン・じまん亭」は、地元の蕎麦粉使用手打ちで、美味しいそばです。



森岳温泉カッパの足湯!羽根川ダムよりは車で7〜8分、惣三郎沼より数分。泉質は食塩泉で「日本一しょっぱい温泉」とか。このすぐ近くには町営の日帰り入浴施設【森岳温泉ゆっばる】も。源泉掛け流しで、料金も300円と格安だぞ。

